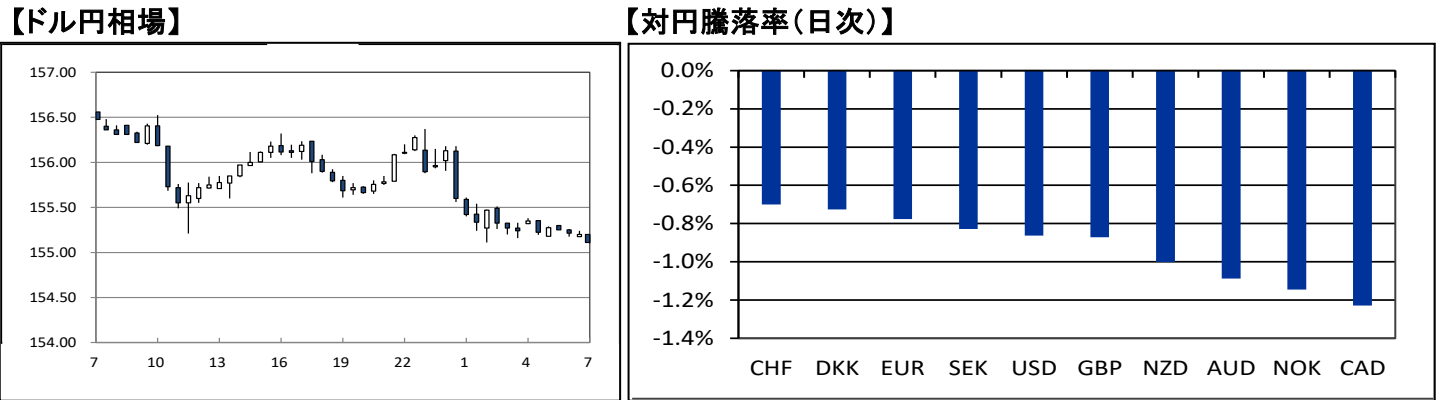


【昨日の市況概要】				公示仲値	156.45
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	156.21	1.0296	160.87	1.2243	0.6236
SYD-NY High	156.52	1.0315	161.07	1.2260	0.6248
SYD-NY Low	155.10	1.0260	159.78	1.2173	0.6192
NY 5:00 PM	155.11	1.0304	159.80	1.2239	0.6213
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	43,153.13	▲ 68.42	日本2年債	0.6900%	▲0.0100%
NASDAQ	19,338.29	▲ 172.94	日本10年債	1.2000%	▲0.0500%
S&P	5,937.34	▲ 12.57	米国2年債	4.2332%	▲0.0327%
日経平均	38,572.60	128.02	米国5年債	4.3949%	▲0.0551%
TOPIX	2,688.31	▲ 2.50	米国10年債	4.6115%	▲0.0426%
シゴ`日経先物	38,405.00	▲ 425.00	独10年債	2.5205%	▲0.0070%
ロンドンFT	8,391.90	90.77	英10年債	4.6805%	▲0.0500%
DAX	20,655.39	80.71	豪10年債	4.5250%	▲0.1160%
ハンセン指数	19,522.89	236.82	USDJPY 1M Vol	10.64%	▲0.36%
上海総合	3,236.03	8.92	USDJPY 3M Vol	10.40%	▲0.06%
NY金	2,750.90	33.10	USDJPY 6M Vol	10.25%	▲0.08%
WTI	77.85	▲ 0.86	USDJPY 1M 25RR	▲1.04%	Yen Call Over
CRB指数	311.35	▲ 0.82	EURJPY 3M Vol	10.80%	0.02%
ドルインデックス	108.96	▲ 0.13	EURJPY 6M Vol	10.67%	0.08%

東京	東京時間のドル円は156.21レベルでオープン。朝方から日銀が来週の会合にて利上げをする公算が大きいとの見方が強まると、円買い優勢の展開に。その後下値の目処とされていた156.00を抜けると、正午にかけて下げが加速し一時155.21を付けた。午後に入ると円買いが一巡し、156円台を回復すると156.18レベルで海外へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、156.18レベルでオープン。特段の材料がない中で方向感なく推移し、結局156.14レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2219レベルでオープン。英11月月次GDPと英11月鉱工業生産が予想を下回り、ポンド売りで反応。その後戻す動きになるも結局じりじりと下がる展開に1.2200レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は156円台前半でスタート。来週行われる日銀金融政策決定会合での利上げ観測が強まってる事を受け、円買いが先行し、155.21まで下落。しかし、その後は米金利の上昇や、欧州株高の展開を受け反発し、156.14レベルでNYオープン。朝方に発表された米12月小売売上高(前月比)が市場予想を下回った事や、ウオーFRB理事が「デイスインフレの進展が続けば、市場が予想しているよりも多く利下げが行われる可能性がある」との発言を受けドル売りが優勢となり、155.10まで下落。午後は米金利が低水準で推移する展開が重しとなり、155.10付近での推移が続き、155.11レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.02台後半でスタート。米金利の上昇が重しとなり、1.0290付近を挟んだ上値重い推移が続き、1.0273レベルでNYオープン。午前中は先述の予想を下回った米小売売上高や、ウオーFRB理事のハ派発言を受け、1.0315まで反発。午後もユーロ高の展開となり、高値圏の1.0310付近を中心とした推移が続き、1.0304レベルでクロス。

【昨日の指標等】					
Date	Time	Event		結果	予想
1月16日	09:30	豪雇用者数変化	12月	56.3k	15.0k
	09:30	失業率	12月	4.0%	4.0%
	16:00	CPI(前年比/前月比)・確報	12月	2.6%/0.5%	2.6%/0.4%
	16:00	鉱工業生産(前月比/前年比)	11月	-0.4%/-1.8%	0.1%/-0.9%
	16:00	製造業生産(前月比/前年比)	11月	-0.3%/-1.2%	-0.2%/-0.5%
	16:00	月次GDP(前月比)	11月	0.1%	0.2%
	22:30	フィラデルフィア連銀景況	1月	44.3	-5.0
	22:30	小売売上高速報(前月比)	12月	0.4%	0.6%
	22:30	小売売上高(除自動車/前月比)	12月	0.4%	0.5%
	22:30	新規失業保険申請件数	11-Jan	217k	210k
【本日の予定】					
Date	Time	Event		予想	前回
1月17日	11:00	GDP(前年比)	4Q	5.0%	4.6%
	11:00	鉱工業生産(前年比)	12月	5.4%	5.4%
	11:00	小売売上高(前年比)	12月	3.6%	3.0%
	16:00	小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	12月	0.3%/4%	0.3%/0.1%
	19:00	CPI(前年比/前月比)・確報	12月	2.4%/0.4%	2.4%/0.4%
	22:30	住宅着工件数	12月	1327k	1289k
	22:30	建設許可件数・速報	12月	1460k	1493k
	23:15	鉱工業生産(前月比)	12月	0.3%	-0.1%



【予想レンジ】			
通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	154.80－155.80	1.0250-1.0350	159.60-161.00

【マーケット・インプレッション】

ウォラーFRB理事が3月利下げの可能性に言及し、インフレが一段と鈍化した場合には年3－4回の利下げも可能であるとの見解を示し、もともと日銀による今月利上げもあり得るとの見方からドルの上値重く推移していたドル/円は155円方向への動きを強めた。投資家は若干ヘッジ比率の調整に動いているようだが、それも本格的な動きではない。逆にドルを買いそびれていた本邦輸入企業からは下値を物色する動きが見られている。155.00ではトリガーが散見されるものの、たとえブレイクしたとしてもそこから更に続落するには新たな材料が必要になるであろう。金曜日ということもあり、ドル全面高マーケットの、「調整の調整」を見込む。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。